

会議結果

次の附属機関等の会議を下記のとおり開催した。

附属機関等の名称	令和3年度第3回みよし市行政評価委員会		
開催日時	令和3年10月4日(月) 午前10時33分から午前11時30分まで		
開催場所	みよし市役所3階 研修室4、5		
出席者	(会 長) 村松幸廣 (副会長) 望月恒男 (委 員) 野々山幸隆、鈴木豊實、富田義親、鈴木文生 ※敬称略 (事務局) 村田政策推進部長、澤田政策推進部参事、 富田政策推進部次長兼企画政策課長、加藤副主幹、森主事		
次回開催予定日			
問合せ先	政策推進部企画政策課 担当 森 電話番号 0561-32-8005 ファックス番号 0561-76-5021 メールアドレス kikaku@city.aichi-miyoshi.lg.jp		
下欄に掲載するもの	・議事録全文 ・議事録要約	要約した理由	
典 礼 富田次長	ただいまから、令和3年度第3回みよし市行政評価委員会を開催させていただきます。 はじめに、礼の交換をさせていただきます。恐れ入りますがご起立をお願いします。 一同礼。ご着席ください。 私は本日の典礼を務めさせていただく、政策推進部次長の富田です。よろしくお願いいたします。 委員の皆さまにおかれましては、大変お忙しい中、また新型コロナウイルス禍の中、ご出席をいただきまして誠にありがとうございます。 感染予防対策のため、会議室を広く使い、会議中の発言につきましては、マイクを使用して発言いただきますようお願いいたします。本委員会につきましては、「みよし市附属機関の設置及び運営に関する要綱」の規定に基づき、公開となっておりますので、あらかじめご了承いただきますようお願いいたします。 それでは、会議に先立ちまして、村松会長よりごあいさつをいただきます。		
村松会長	皆さま、おはようございます。 渋滞がありまして、少し遅れてしまい申し訳ありません。渋滞しているということで、人の動きも出てきたように感じます。あまり動き過ぎると第6波の恐れはありますが、コロナも鎮静化してきているかと思います。 本日は、前回のヒアリングも踏まえ、各事業を評価していきたいと思います。委員の方のお考えもお聞きしながら進めていきたいと思いますので、時間も限られていますが、よろしくお願いいたします。 簡単ですがあいさつに代えさせていただきます。		
典 礼 富田次長	ありがとうございました。 本日の議題は2点ございます。 議題に入る前に、事務局より本日の流れを説明させていただきます。		

事務局	1件めの議題についてですが、8月24日の第2回行政評価委員会で実施した外部評価対象事務事業ヒアリング後、委員の皆さまにご提出いただいた外部評価シートを基に、資料1の「外部評価シート一覧表」を作成させていただきました。本日は、事業ごとの「今後の事業の方向性」について、決定していただきたいと思います。 2件めの議題についてですが、資料2のとおり行政評価報告書（案）を作成しましたので、記載内容等についてご意見を伺いたいと考えております。なお、対象事務事業の記載する順番を施策体系表に合わせ変更しましたので、ヒアリング時と順番が変わっていますがご了承願います。 説明は以上です。
典 礼 富田次長	それでは議事に入らせていただきます。村松会長の議事進行でよろしくお願いいたします。
村松会長	それでは、議事に入りたいと思います。 結果の取りまとめということで、まず不妊治療費助成金事業について、事前に資料も配布させていただいていますので、委員の方の意見を伺って多い意見を中心に決定していきたいと思います。 野々山委員から順にお願いいたします。
野々山委員	私は、継続して実施としておりますが、助成金額、割合の妥当性について検証が必要かと思います。
鈴木豊實委員	この事業は、対象者が少数ではありますが、重要な事業のため、継続して実施でよろしいかと思います。
鈴木文生委員	私だけ拡大としていましたが、継続して実施で結構ですのでよろしくお願いいたします。
富田委員	継続して実施でお願いします。
望月副会長	継続して実施としました。鈴木文生委員が拡大していますが、私も対象者の経済的負担を減らす方向でお願いしたいと思います。ニュアンス的には拡大ですが、継続して実施でよいと思います。
村松会長	私も継続して実施としました。将来的には拡大の必要もあるかと思いますが、国の動向も注視する必要があると思います。 それでは、現状維持とし、今後の状況によっては拡大するということでしょうか。 【委員異議なし】 それでは現状維持で決定したいと思います。 続きまして、郷土芸能伝承活動発表会開催事業についてお願いします。
野々山委員	発表会の中身で言うと、棒の手は分かりませんが、他は秋祭りでもやっています。時期を見直し、11月の発表とすれば練習ができると思いますので、開催時期について見直しが必要であると思います。
鈴木豊實委員	今まで実施してきた事業のため、野々山委員が言ったように、時期や開催方法は検討すべきかと思います。市民全体に関する内容のため、特に時期を改善としました。
鈴木文生委員	サンアートで発表をしなくても、各地域で親に見てもらふ発表方法でもよいかと思います。開催費用を太鼓や巫女舞の小道具の補助金としてもよいかと思います。改善か縮小で悩みましたが、改善としました。
富田委員	縮小としましたが、他の地域でも伝承活動をしていますので、各行政区が行事に組み入れ伝承していくことも検討していただきたいと思います。毎年だと参加者も少ないため、数年に一度伝承活動の発表を行う形態でよいと考え、縮小としました。

望月副会長	私も継続して実施ですが、発表会には、参加希望者に出場してもらう形でもよいと思います。ただし、文化の伝承は必要だと思いますので、実施に関しては見直しを伴いながら継続して実施すべきだと思います。
村松会長	私は、改善しながら今後も維持していかなければいけないと思います。子どもの数も減り、出席者は減少傾向で関心も薄れていくかもしれませんが、何かしら維持していくために改善が必要だと思います。 全体でご意見をいただきましたが、改善としてよろしいですか。 【委員異議なし】 問題点を改善し、開催の在り方等検討する必要があるかと思いますので、よろしく願いいたします。 続きまして、ビジターセンター管理事業についてお願いいたします。
野々山委員	私だけ廃止・休止としましたが、実は、7年ほど前にシルバー人材センターに委託をした際、経過を見ながら将来的には状況が改善されなければ廃止という結論とされていたため、廃止としました。
鈴木豊実委員	家が近いため、機会があったら立ち寄っていますが、何をするにも規模が小さいと思います。このままでは厳しいです。他の施設もありますので、一体経営も検討すべきかと思います。ただ、駐車場がネックですので、全体的な点で改善できる取組みをしていただければと思います。
鈴木文生委員	前回の委員会で、廃止としてもよいのではと発言しましたが、再度配布資料を見ると、元職員として、今までの経緯を踏まえ今後も継続していくべきだと思います。なくしてはいけないと思います。シルバー人材センターに委託しているということで、雇用にもつながっていますので、継続して実施としました。
富田委員	私は、縮小としましたが、はっきり言うと廃止です。無人でも十分で、スペースがもったいないため、民間に貸すことも検討すべきだと思います。民間が借りるかどうかは別にして、民間委託ではなく民間に賃貸し、三好ヶ丘駅駅前周辺の活性化につなげていただきたいと思います。公共では活性化にならないため、民間に力を借りるべきだと思います。
望月副会長	改善して実施ということですが、どうしてもビジターセンターの扱いとして、持て余し気味で袋小路に入った印象を受けます。抜本的に事業そのものを見直す必要があると思います。廃止か縮小は判断できませんが、まずはそこを見直すとうよいと思います。
村松会長	私も改善ですが、現状を踏まえると実施したメリットを考え、ボランティアを募り、コンサート、イベントを実施する。また、情報発信機能も必要ですので、スペースをどう使うか検討していくべきだと思います。せっかくのスペースを活用する方法を考え、場合によっては富田委員がおっしゃるように民活も考えていくべきかもしれません。また、先ほど野々山委員が厳しい評価をされたように、持て余している部分がありますので、抜本的な見直しをこの1年の間で検討し、方向性を見出す必要があると思います。厳しい評価、意見もありますが、改善、見直しを行い、民活のように業者が入れば、そんなに単純ではないかもしれませんが、賃貸で市にもプラスになりますので、いろいろ検討いただきたいと思います。 それでは、改善としてよろしいですか。 【委員異議なし】 厳しい意見もありましたので、ぜひ検討していただきたいと思います。 次に、リサイクル推進事業についてお願いします。
野々山委員	私は、継続して実施ということで、実は民間の無人で回収できる場所がかなりありますよね。スーパーではポイント制で回収している場所もあります。今後回収量が減ることも想定されますが、できれば今の状態で維持してもらいたいと思います。
鈴木豊実委員	継続実施でよいかと思います。現状、分別は大変満足しています。

鈴木文生委員	資料にも書かせていただきましたが、回収を直営でやっている自治体もある中で、みよし市は委託をすることで、効率よく回っていると思いますので、継続して実施でよいと思います。みよし市の分別は単純で分かりやすいという声がありますが、SDG s の取り組みの中で、意識改革をしっかりとしていけるとよいと思います。
富田委員	基本的にはごみの減量化から始まっていると思いますが、最近では民間の古紙、段ボール、缶の回収場所が増えています。毎日見ているとすごい量になっています。なぜみよし市のリサイクルステーションに持っていないか、それは非常に分別が細かいと聞いたことがあります。行政がすべきこと、民間でもできることを考えていただきたいということで縮小としています。
望月副会長	拡大としましたが、継続して実施でよいと思います。拡大とした理由は、プラスチックごみに関する法律によって今後拡大傾向ということで、評価を拡大としましたが、富田委員がおっしゃるように効率性を考え、方向性は拡大かもしれませんが、コストの削減を図ってほしいと思います。
村松会長	私も拡大としました。予算的措置も必要かもしれませんが、SDG s の精神、公共団体として温暖化の問題やマイクロプラスチックの問題を考えていく必要があります。日本ではあまり問題視されていませんが、海外では体内に取り込まれると身体、特に遺伝子や染色体に異常をきたすと言われ、問題となっています。ですからプラスチックをなくそうとしています。中国は、東南アジアにごみを輸出して分別してもらっていましたが、捨てきれず国内に溜まっており、リサイクル収集だけでなく資源としていかす考えが必要となってきています。地球規模の課題なため、民活または市の取り組みとして今後ステップアップしていかなくていけないと考え拡大としています。 継続して実施、拡大、縮小のご意見もありましたが、対策をしていただきながら現状維持としてよろしいですか。 【委員異議なし】 次に、道路維持管理事業についてお願いします。
野々山委員	継続して実施ということで、維持管理を今までどおり行っていただければと思います。
鈴木豊實委員	私も継続して実施でよいと思います。交通安全は大変重要であり、年々事業量が増加すると思いますが、拡大というのはなかなか難しいということで、継続して実施していただきたいと思います。
鈴木文生委員長	拡大していますが、優先的に必要な箇所を修繕していただきたいと思います。維持管理面で心配のため、拡大としました。
富田委員	私も拡大ということで、道路行政は尽きることがないと思っています。年々地域からの要望も多く、交通安全等で国が言っている歩車分離などで、今後も事業が増大していくと思います。予算に比例して増大であればよいですが、反比例して増大していくこともあるため、できるだけ歩車分離をして、まちが綺麗になったと市民が実感できるように事業を展開してもらいたいです。
望月副会長	私は、継続して実施としました。ヒアリングの際に、新規道路が増え、対象が増えていると聞き、拡大していくべき事業と認識しています。担当者が委託等して改善の余地があると説明がありましたので、これを踏まえ拡大傾向にはありますが、すでに努力をしているため、継続して実施すべきと評価をしました。
村松会長	私も継続して実施ですが、重要なライフラインとして災害時に道路が塞がることのないよう改善が必要だと思います。道路は整備されてきていますが、高度経済成長期、バブルの時代に住宅を一斉に建て、道路も整備したことによって、バブルがはじけて年月が経ちますが、補修をしないといけない時期にあると思います。負担が大きいと思いますが、維持していく必要があります。大きな修繕もあるかと思いますが、災害時にあとあと問題になることもあるため、どこを修繕するか計画を立て、予算措置、対策を講じてほしいと思います。アフターコロナ

	も見据えて考え、市民の安心を優先し、拡大も一時的に必要なだと思います。 それでは、現状維持とし、一時的には拡大も必要だということによろしいですか。 【委員異議なし】 大変かもしれませんが、ご意見をいただきましたので検討していただきたいと思います。 それでは、交通安全施設整備事業について、道路維持管理にも関係してきますが、お願いします。
野々山委員	継続して実施ということでよいと思います。一点だけ、三吉小学校の南東の道路が、道路幅が5メートルで、車道4メートル、歩道1メートルでブロックが境界となっています。中学生の自転車通学、小学生も通学、車も両方から入ってきます。歩道を作ればお金がかかるため、難しい部分もありますが、もし事故が起きたら問題となります。手っ取り早い方法は、交通規制で朝の7時から9時まで車を通さないようにすることですが、公安委員会、道路管理者との調整もあり難しいと思います。なるべく危険箇所をなくせるような予算措置をしてほしいと思います。
鈴木豊實委員	結論から言いますと、継続して実施でよいと思います。各行政区の要望を積極的に取り入れてもらって大変ありがたいです。野々山委員がおっしゃるように、自転車が危ない道路もあるため、難しい部分もありますが、地元区長を中心に安全を図っていき、積極的に今までどおり実施していただければと思います。
鈴木文生委員	歩道を新しく作るには用地買収、工事には時間とお金がかかります。あつたらしいに決まっていますが、なかなか道路を追加するのは難しいと思います。計画的に、通学路については、教育委員会等とも調整、相談をしながら実施してもらいたいです。
富田委員	私は、拡大としました。各区長さんの要望でも交通安全対策は多いかと思います。安全対策に関し組織の軋轢もあると感じます。教育委員会では交通量が少ない道路を通学させたい、住民は抜け道として利用したいといったように様々な意見があると思いますので、歩車分離を検討し、事業を拡大していただければと思います。
望月副会長	継続して実施ということですが、今までのご意見に同感です。
村松会長	私も継続して実施としました。予算規模は限られていますが、安全を確保し、誰も死なせないという気持ちでやっていただきたいです。行政区からの要望もあるかと思いますが、危険箇所の洗い出しをしていただきたいと思います。日本では集団登下校が一般的で、集団で歩くと事故が起きたときに複数の犠牲者が発生してしまいます。海外の例えばイギリスでは必ず母親、おばあちゃんが送り迎えをして、学校側も確認、下校時は校長も見て引き渡しをしています。親の責任になっています。アメリカでは、スクールバスが走っています。日本においては、地域、親が児童生徒の安全を確保し、見守る必要があります。私は、健康のために自転車で40分かけて大学へ通ってしまして、帰りはしんどいですが、自転車専用道路の確保など通学路の歩車分離以外にもいろいろな問題もありますので、考えていただきたいと思います。児童生徒の安全確保も大事ですし、私も75歳を超え、老人の年齢です。格好は若くしていますが。交通安全対策はどこをやるか洗い出しをし、継続実施ですが、必要に応じて危険箇所の安全対策を実施していただきたいと思います。 それでは、継続して実施でよろしいですか。 【委員異議なし】 ありがとうございます。以上で取りまとめを終わります。 次に事務局から議題2「行政評価報告書の作成について」確認をお願いします。

事務局	資料2「行政評価報告書（案）」をご確認ください。 1 ページめの、まえがき前半部分では、「経済状況」、「本市の財政状況」を記載しております。 後半では、「行政評価の重要性」、「外部評価の成り立ち」について記載しております。なお、後半部分については、昨年度から変更はございません。 続きまして、2 ページ、3 ページでは、行政評価の概要について、(1)評価の目的、(2)評価対象事務事業の選定、(3)評価対象事務事業、(4)評価の区分、(5)評価の進め方、(6)評価の基準の順で記載しております。 4 ページ以降は、評価対象事務事業ごとに、事業の概要、実施の必要性、現在及び将来の課題、評価結果の順に記しております。なお、評価結果につきましては、本日の委員の皆さまからのご意見を踏まえまして、意見、今後の方向性を記入させていただくため、空欄となっています。 事務局からの説明は以上です。
村松会長	何かご質問、ご意見等ありましたら挙手をお願いします。 行政評価委員の意見は、少数意見も記載させていただきますようお願いいたします。言い方は良くないかもしれませんが、民主主義において実施できなくても掲載する、こういう意見があったということで記載をお願いします。 全体としてもよろしいですか。 【委員異議なし】 以上になりますので、事務局へお返しします。
鈴木豊實委員	委員の皆さま、本日は長時間にわたりありがとうございました。 なお、行政評価報告書につきましては、本日いただいた評価結果及び意見を基に、事務局で取りまとめ、10月下旬までに皆さまへ確認のため送付させていただきます。 その後、修正点を見直しまして、11月9日に村松会長から市長に報告していただく予定です。 また、本日決定いただきました行政評価結果につきましては、担当課に評価結果を示し、それに対する今後の事業の対応策について、11月下旬を目途にホームページで公表する予定としております。よろしくお願いいたします。 以上をもちまして、令和3年度第3回行政評価委員会を終了いたします。 最後に、礼の交換をさせていただきますのでご起立ください。 一同礼 ありがとうございます。 【閉会】